

くりまっこ



下水道出前授業（4年生）を行いました。

6月23日（月）3限目に、4年生は下水道についての理解を深めるため、三重県下水道公社の方に来ていただき、「下水道出前授業」をしていただきました。まず、上水道と下水道について詳しく教えていただいた後、COD という水の汚れの指標を使って、川の上流・中流・下流の汚れの違いとそこに住む魚を教えてくださいました。次に、家から出る下水の量と COD を教えてくださいました。台所は料理の油などを含む水を流すので COD が高く、油はできるだけキッチンペーパーや新聞紙でふき取ってから流すということを教えてくださいました。浄化センターに流れてきた汚れた下水は、微生物の力を使って、きれいにしてから川や海に流すそうです。そして、COD の測定実験（パックテスト）を醤油・ガムシロップ・麦茶を使って子どもたちが行い、最後に、汚れをきれいにする微生物の動画を見せていただきました。家庭で出る油の汚れには驚いたようで、これからはどのようにすればよいか考えるきっかけになったのではないのでしょうか。



2年生で「食教育」を行いました！

栗真小学校の給食は、白塚小学校で調理されたものを運んでいただいています。また、白塚小学校在籍の栄養教諭に来ていただいて「食教育」の授業をお願いしています。6月23日（月）4限目には、2年生で「野菜のいいところさがしをして、夏野菜をおいしく食べよう」というテーマで、食教育を行っていただきました。まず最初に野菜のいいところカルタをしました。夏野菜で旬の野菜を学びました。夏野菜で風邪知らず、夏野菜で夏バテしないなどいいところを学びました。そして、7月の献立表から夏野菜を見つけました。子どもたちの授業の振り返りの感想から「夏野菜がこんなにあるなんて知らなかった。」「風邪知らずなんてすごいなと思いました。」「秋野菜も知りたいです。」「もっと野菜を食べたいです。」

などの意見がありました。このように、給食には季節の野菜がたくさん入っていることや野菜の良さを知って、野菜を好きになってほしいと思います。



三重県埋蔵文化財センターの出前授業がありました！

6月25日（水）の3・4限目に、6年生は、三重県埋蔵文化財センターの方による出前授業を受けました。まず、伊勢神宮への参拝者で賑わった伊勢街道沿いで発展してきた「栗真」は、昔この地域に存在した「栗真荘」という荘園の名前が由来であるのではと考えられていることや、約460年前の安土桃山時代には、織田信長の弟の織田信包（津城を造った人物）の家臣である分部光嘉が造った「栗真中山城」が、今の栗真小学校の近くにあったことを教えていただきました。次に、「お七夜」で有名な一身田地区は、高田本山というお寺を中心に発展してきたことや、高田本山専修寺には、三重県内にただ1つしかない国宝建造物があること、この辺りには約550年前の室町時代の遺跡である「専修寺境内遺跡」が見つかったことも教えていただきました。そして、中勢バイパスと津関線とが交わる大里窪田町周辺には、三重県内にある14000か所の遺跡の中でも最も貴重な遺跡の1つである「六大A遺跡」があることを教えていただいたあと、そこから発掘された出土品の説明をしていただきました。最後には、貴重な出土品を手にとって触らせていただきました。子どもたちは、出土品の特徴をじっくりと観察していました。自分たちの身近な地域の話とあって、子どもたちは、興味深そうに歴史を学ぶことができました。

